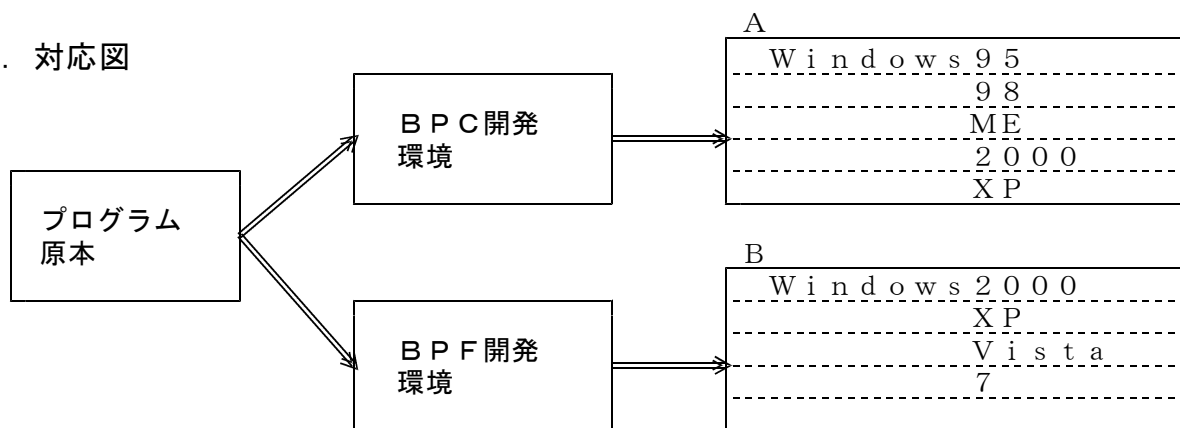


桜の季節もはや過ぎて、初夏を迎えようとしています。変化の激しい世の中ですが、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

アクセスでも、日々ソフトウェアの機能向上に努めておりますが、このたびWindows 7（セブン）への対応ができましたので、ご案内いたします。セブンは、昨年秋に販売が開始された、XP、Vistaの後継にあたるパソコン用OS（オペレーティング・システム）です。Vistaとはあまり差がありませんが、XPとは大きく異なるために、互換性が問題となっていました。対応が可能になりました。

Vistaが不評で、ほとんど使用されることなく終わってしまったような感がありますが、セブンはけっこう改良されており、軽快に動作します。いずれXPの出荷がなくなってしまうことは避けられず、当社としても対応をすることにしました。

1. 対応図



Aは、従来の対応形式です。BPC用のランタイムプログラムが必要です。Vista以降では動作しません。

Bは、今後の対応形式です。BPF用のランタイムプログラムが必要です。現行の主流として出荷しています。

2. 開発の経緯

現在、プログラム原本には、2つのバージョンがあります。バージョン6、バージョン7と呼んでいます。バージョン6は新規の開発は停止しており、サポート中心になっています。バージョン7は、前バージョンの不足分を補い、かつ将来に不足がないように開発されており、現行バージョンとなっています。今後、システムを入れ替えて頂けるお客様については、バージョン7でのご提供になります。

バージョン7は、BPC、BPFどちらも適応できるように原本を作成しています。

3. BPC/BPFの違い

- ①開発ソフトは、どちらも東芝製ですが、BPFが後発であり、BPCは新規提供がありません。
ベースになっているCOBOL言語も、根本が異なります。
- ②BPFでは、印刷を「通常使用するプリンタ」に行えます。従って、プリンタを、PDF出力やプレビューソフトに割り当てることができ、画面で印刷内容が確認できます。
- ③画面操作での違いは、まったくありません。

- ④データベースも共通ですが、B P C ー ー > B P F 導入時には再編成が必要です。
(データベース管理ソフトを最新版にする必要がある場合があります。)

4. 制限事項

- ①B P Cで構成されているシステムに、B P Fを追加することはできません。
両方を同時にインストールすることはできますが、2種類を購入していただくことになり、無意味です。
- ②B P Fにした場合、サーバーは、W i n d o w s 2 0 0 0サーバー以降を使用します。
- ③セブンをを使用する場合、データベース管理ソフトを新規購入する必要があります。
(P e r v a s i v e . S Q L V 1 0)
- ④現在、X Pで使用しているP Cを、セブンに変更した場合、B P Fとしてインストールされていても、環境設定などを再調整する必要があります。
- ⑤B P Fにした場合、印刷は「通常使用するプリンタ」に割り当てることができますが、元々が半角136文字のストックフォームへの出力が基準になっていますので、それに対応できるプリンタを選択する必要があります。例えば、A4サイズで出力する場合には、文字サイズが2/3程度に縮小されます。
印刷行数=66行が規定ですが、56行にして、文字を大きくしたプログラムも用紙しています。(但し、ドットプリンタには印刷できません)
プリンタにより、余白の設定が一定ではないので、同じ印刷を別々の機種で行ったときに、印字位置が微妙に異なることがあります。

ドットプリンタを使用する場合には、従来どおりB P C / B P Fとも推奨機種があります。

- ⑥バージョン7では、画面サイズを、1024×768 (XGA) 以上を基準にしています。
800×600では、画面が見にくくなります。
また、ワイド画面のモニタでは、設定により、文字が横に長くなったり、サイドに空欄が生じます。
- ⑦フォームオーバーレイ印刷を、安価に実現するために、ワープロソフトの「一太郎ビューワ」を使用しています。(無償で提供)

5. バージョンアップ

- ①バージョン6からバージョン7へは、ソフトウェアの新規購入あるいは、月額使用料の変更で実施させていただきます。
- ②B P Cでのバージョン7は、そのまま継続使用されることをお奨めします。
セブン使用を希望するのであれば、B P Fに入れ替える必要があり、ランタイムソフト料と、入れ替え作業費を負担していただきます。
セブンを使用せずとも、B P Fに入れ替える場合も同様です。